

会議録

会議の名称	中野市市民会館整備方針（案）に係る市民説明会
日時	令和2年2月19日（水） 午後6時30分～午後7時33分
会場	豊田文化センター2階会議室
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 12人・市出席 11人 市長、副市長、総務部長、くらしと文化部長、政策情報課長、財政課長、文化スポーツ振興課長、財政課長補佐兼財政係長、文化スポーツ振興課長補佐兼文化振興係長、文化スポーツ振興課施設管理係長、文化スポーツ振興課文化振興係担当・中野市市民会館劣化状況等調査業務受託者 1人
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 中野市市民会館整備方針(案)について4 質疑5 閉会
発言内容等	別紙のとおり

(別紙)

中野市市民会館整備方針(案)に係る市民説明会 会議録

日時 令和2年2月19日(水)
午後6時30分～午後7時33分
会場 豊田文化センター2階会議室

1 開会

2 あいさつ

(市長)

皆さん、こんばんわ

中野市市民会館整備方針案に係る市民説明会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

皆様方には、お仕事を終えられてお疲れのところ、説明会にご出席いただき、厚くお礼申し上げます。

市民会館につきましては、「文化の香る元気なまち」推進のため必要な施設として、旧中野高校跡地に新築により整備することとしておりますが、現在は、市の財政状況から、当面の間、建設を延期しているところであります。

一方、現市民会館につきましては、本年度、建設から50年を迎え、建物の劣化状況などについて調査を実施しましたところ、耐震不足の部分を補強することで、今後も30年以上の使用を前提とした長寿命化を図ることは可能であることがわかりました。

これを受けて市民会館の整備について検討し、新市民会館を建設することは困難であると判断し、現市民会館を利用される皆様の安全・安心を早急に確保し、利便性の向上を図る必要があることから、現市民会館を大規模改修により長寿命化する「リノベーション」により整備を行うこととし、本日説明する整備方針案を策定いたしました。

この整備方針案は、リノベーションにより整備することとした理由のほか、新たな機能や使い方などについてまとめたものであります。

リノベーションに当たりましては、音楽都市「中野市」にふさわしく、より良い市民会館となるよう進めて参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます、ごあいさついたします。

3 中野市市民会館整備方針(案)について

- ・文化スポーツ振興課長から資料に基づき説明

4 質疑応答

(市民A)

〇〇と申します。

17 ページのリノベーションにおける検討する内容の最後に「など」となっていますけれども、この「など」の中でぜひ、今の高野辰之記念館と中山晋平記念館は離れてまして、せっかく観光で来ても2か所は回れないということで、それを一か所にまとめていただいて、この中でやっていただいて、その中に職員がちゃんといれば、そうすると市外から来た人が一か所へ来て同じ所で先生方の素晴らしいなって両方堪能して帰れると、そういう中でぜひ考えていただきたい。

それと18ページのホールの平面図がありますけど、駐車場について、市役所側とホールのちょうどその真ん中にこの縦長の東西の建物っていう形で、私は、今の駐車場の方へ建物をもって行って、今の場所を平地にしていただけると市役所の駐車場と一体になり非常に、皆さんが使いやすい。冬になると寒いですからね。そういうことでぜひ、検討していただければ嬉しいと思っています。

ストリートピアノについて、私も携わっているいろいろやてるんですけど、これは人が流れているからいいの。ただ市役所の2階に置いたら私は賛成しますけど。そういうところに置いたって人は来ません。駅とかああいうところは人が来て弾いている。私の知っている人もやてるんですけど、そういうことをやらないとせっかく何十万のピアノを置いても、使う人は限られちゃうことを一言述べさせていただきます。

以上です。

(くらしと文化部長)

様々ご要望を頂きました。今のご要望頂いたことを含めまして、また駐車場につきましても、これから設計する中で少しでも台数が増える形を考えて参りたいと思っています、ありがとうございます。

(市民B)

〇〇と申します。

絞りまして2点要望とあと質問を申し上げます。

1点要望ですが、現在立派な駐車場を中心として市庁舎とそれからホールが離れている状態となっております。今ほどご説明の中で動線の改新っていうか、改良を頂いたんですが、あの18ページのちょっと図面を拝見しただけで、導線を考えたときに、中心の駐車場から観覧側のお客様を入れる場合に、客席側が今の既存の入り口側に向いているような格好になっているのですが、これを市役所側に向けていただいた方が、よりスムーズになるんじゃないかなっていうのを一つ感じておりまして、こうしたことを考えていただければとより使いやすいんじゃないか

なという印象をもっております。

それが1点と、2点目はご質問なのですが跡地利用の計画をいったん見直しということでお話、ご説明頂きました、防災拠点としてこの文化ホールを使用されるような想定というのは現在のところで結構です、どういったお考えでいらっしゃるかというところ教えてください。

(くらしと文化部長)

ありがとうございます。入り口の関係につきましては、先ほど課長からご説明しましたように、今の入り口はちょっと違う方向の入り口の方も考えております。また設計の中で市役所と一体的な利用が可能になるような形で進めて参りたいと思っております。ありがとうございました。

また、今の市民会館の防災の関係でございますけれども、今の市民会館の状況では会議室棟が耐震性能がございますが、ホール棟につきましては耐震性能がないといった状況でございます。今回のリノベーションによりまして、ホール棟を含め、市民会館全体が耐震性能を満足しますので、これから市の全体の防災計画の中でどういった防災上の施設として利用するかを、検討して参りたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

(市民B)

あと1点。客席の数、先ほど1000席ほどということで今後リノベーションを経て同等程度、もしくはそのくらいの集客が見込めるようなイベントも、今後また増えてくるという風に私も希望もしておりますし考えておるんですが、今、自動車で来られる方も大変多くなっていると思うんです。今庁舎の駐車場の台数をばっとう頭に思い浮かべて、じゃあホールが稼働した時に車両はどうなのか。

バスで移動されてきまして、そのバスをこう乗りつけるようなロータリー的な施設ですとか、その辺の動線というのは駐車場の変更ですとか、その辺のお考えとしてはどうか。今回の事業の中に含まれているかどうか、ということも含めて最後、教えていただければと思います。

(文化スポーツ振興課長)

はい、それではご説明申し上げます。これまでの市民会館ホール約1000席ほどございます。

実例としましては、皆さんご存知かもしれませんが、信州なかの音楽祭の実行委員会が開催した、オペラの「中山晋平物語」が行なわれましたが、客席数とすると満席な状況で、チケット販売も完売だったのですが、当日の対応といたしましては、庁舎の駐車場が約100台程度、市民会館の駐車場では約40台程度、あと隣接する公共施設の中央公民館で約90台程度ございます。あと残り隣接する公共施設まだございますが、その時ですと約300台の区画を用意しました。こちらですべて呑み

込めているというような状況でございます。

また、バスの関係ですが、大型バスが発着をするようなイベントにつきましては、実例とすると、中山晋平音楽賞の発表会がございまして、小学生やほかの方々が参加されるイベントがありますが、このイベントでは、今お話ししたスペースの中で、バスを専用に発着させる場所、来館いただけるお客様の駐車を確認して行っており、現在の近隣の施設も含めた中で対応しているという状況でございます。よろしく申し上げます。

(くらしと文化部長)

客席についての補足ですが、客席につきましては今 1000 席ほどございますけれども、客席は全部入れ替えをしまして、少し広い席にしたり、舞台を前に張り出したりということで、前の座席が何列かつぶれるというようなことを想定しておりますので、大体 700～800 席ぐらいのホールになるのではないかと予想をしております。

また違う話ですが新設する多目的ホールにつきましては、稼働席を計画しておりますが、200～300 席ぐらいの小規模のイベントに対応できることを想定しております。ありがとうございます。

(市民C)

私、市の音楽の方に携わって 20 年近くなるんですけども、いちばん自分のところに身にしみて感じたのは、中野は音楽都市というのになんでちゃんとした人たちが来れないのかって。いい指揮者が呼べなかったりとか、そういうことがとてもつらい思いして来ました。

私たちより飯山にちゃんとできて、そして須坂にもできてということで、中野がどうして音楽都市なのにいちばん遅れているなって。そういわれたときに、いやどうしようもない私らの力ではどうにもならない、とてもそういう風に言われるのがつらかったです。

だから今こそこで意見を出しておかないと 30 年は私生きていませんけれど、今後の皆さんたちが、やっぱり音楽都市としての誇りを持てるような音響とか施設を、色んな施設上げていただきましたけれど、一番何を大事にして優先してやるのがどういうことなのか、ということが考える必要があるのかななんてゆう風に思っています。

一市民の意見もぜひここで聞いてほしいなってゆう風に思いました。よろしく申し上げます。

それと、例えば私たちが今ここで出した意見、それと 26 日まで意見が集まると思うんですけど、その意見はどのように集約されてとか、どこでどのようにしてまとまっていくのか。今後この意見、いろいろもうすでに 21 億円っていうのが決

まっている。その上には、いろいろな建築の関係やらもいろいろ検討されていると思うんですね。実際に直せる場があるのかどうか、意見を出しても無駄にならないのかどうか、例えば音響だったらどの程度の音響の専門家が来てやってくださるのか。そういうのがやっぱり安心したいんです。そんなことで意見を述べさせていただきます。ありがとうございます。

(くらしと文化部長)

はい、色々ご意見ありがとうございます。今まで確かに使いづらいという施設で大変ご不便かけていたかと思いますが、リノベーションによりまして、市外からも使いやすい施設にして参りたいと思っておりますので、ありがとうございました。

それから色々ご意見出して頂いたことですが、今ご説明したこの整備方針案、こういった大きなリノベーションをするといったことと、大まかにはこんなような計画しているといったようなことについてご意見を伺いました。

実際には、これから設計を組んでいく段階であります。もう少し具体的に皆さん方に目に見えて意見が出しやすい状態になりましたら、利用される団体の皆様方とか、市民の皆様方に改めてご意見を伺う場を設けていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。

(市民A)

この21億円っていう、いまおおざっぱといったけど、おおざっぱでも出ているわけよ。これをやっぱり言っていたかかないと。

私はよく言うんですけど、森山良子さんがあんなに有名になるとは知らなかったけど、出たときに中野市に呼んだの。なぜかという、このころ青年団でみんな頑張って、是非やって、うたをみんなで歌いましょう。あの市民会館いっぱいにした歴史がある。それはいい。それだけ音楽を目指そうって仲間が大勢いた。そのときはね、この中野市民会館、県下で一番だってそういう誇りがあった。それはそれだけ素晴らしいのは私覚えてます。それでその時いま楽屋とかあんまり考えてなかった。なぜかっていうと、あの頃は二十歳だったから、荷物持ってきたってなんともなかった。ところが今70近くになると、物をもっていくことは非常に大変ということで、ここでいろいろと改善というか改造していただきますけれども、今言ったように21億円の今わかる範囲でどの位ってのをあるからこれ出ていると思うんですね。わかる範囲でお話しいただければ大変うれしいと。よろしくお祈りします。

(文化スポーツ振興課長)

はい、ありがとうございます。21億円の内容といたしますか、先ほど来ご説明をさせていただいておりますリノベーション。市長からもリフォームではなくリノベーションという言葉の使い方でございますが、新たな機能というところも当然

着眼点としてはございます。しかし音響の関係ですとか、照明の関係ですとか、演者側といいますか、そちら側の方にもできるだけ配慮をした最新のもので設計をしながら、整備を整えたいと考えております。

当然、今 21 億円の中にはその事業費も見込んでいますので、今日ご説明したのは整備方針案で、ちょっと骨格はボヤっとした形ですけれども、これから専門的なコンサルタントや、音響ですとか照明の専門の業者にもお願いをして参りたいと考えております。

(市民A)

続けてその関係で、私なぜこんなに強く言うのかというと、ちょっと話が変わりますが、檀家があつてお寺さんがいる。お寺さんの時にこう灯籠みたいな 100 万円ぐらい寄付することがずいぶんあるんですよ。てことで私はもっと具体的な内容をいただければ、やはり愛好家っていうのは私いっぱいいると思う。せつかくいいものを作るんだったら、そこへ少しでも協力しようと。是非みんなでいい建物を作りましょう。私は、見えないところにお金をくれってそういうの嫌いな。具体的にぜひこういうものを作るからぜひみなさんの協力をお願いします。中野だけじゃなくて全世界に。世界のふるさとの誕生の地だってやれば私はね、そんなことをやって自分たちが建てたものって不思議なもので、愛着持つんですよ。こういう中で歌えるっていうのはうれしい、そんなことでさっき言ったように 21 億円っていうのはあんまり考えないで、私は個人的には市民として応援したい、そうゆうつもりでよろしくお願いします。

こうゆう説明うちら自身じゃなくて、今の子どもたちが世代をつなぐってことで、やはり子どもたちにもぜひ市長の方から、これからこうゆうものを作りたいって、未来の中野って素晴らしい、音楽ってこんなにいい、そのためにこんなことをやりたいから、そういう一言をぜひお願いしたいと思います。

今日もここに来るに対して他の人と話して、これ知らないんです残念ながら、特にどういう人が知らないか、スポーツ系の人。スポーツの人たちも関心持てるような形のリノベーションの、いろんなホールの、豊田のホールみたいに普段は席が無くてスポーツもできるようなそんなような形の、チョットしたもののアイデアがあれば。そうすれば音楽、芸術的な人と未来あるオリンピック目指そうとそういう人たちも使えるような、そういう気持ちをぜひ持っていたいただいた設計をお願いしたい。

(くらしと文化部長)

ありがとうございます。先ほどご説明の中でも申し上げました通り、財源の中で様々な方から寄付金とかそういった形を考えておりますので、ありがとうございます。それから若い人たちの意見などをお聞きするというのも非常に重要な

事じゃないかという風に思っておりますので、今後生かして参りたいと思っております。

(市民D)

〇〇と申します。

12 ページのリノベーションについての検証というところで、単純に新築よりもリノベーションの方が財源の負担が少ないということで考えられているんですけども、例えばこの単年度あたりの財源負担と考えたときに、これは全部税収で賄うというような考え方なのか、それとも利用料とかそういうのも含めた財源という会計の考え方なのかってのが聞きたい。

今吹奏楽団を運営しているんですけども、利用料がどうしてもかかってきて、みんなお金を出し合って団を運営している立場なので、中々こう人口減少とかうたわれているなかで、どんどんその新しいものを作ったから新しいグループがどんどんおっきなグループが増えるわけではなくて、きっと小規模なグループが今後も市民会館を利用していくと思いますので、そうやって来た時にあまり高額な利用料を設定されると、かえって使われなくなって、いい施設はあそこ高くでダメなんだよみたいな風になってしまうと、どうなのかなあって思いますので、その辺を検討していただければと思います。

あとは、どうしても財源とか考えると 30 年先のリノベーションってのが考えられていると思うんですけど、今子どもたちこれから生まれてくる子どもたちが実際市民会館をしっかりと利用するってのは、実は 30 年先 40 年先だったりするのかなと思いますので、今このリノベーションして直した施設を使って 30 年たった後にどのように今度考えていくのか、今もし何か検討されていることでもあったら教えていただければと思います。

(くらしと文化部長)

はい、ありがとうございます。12 ページの単年度当りのことですが、こちらは本当に単純な計算で、利用料とかそういうのは全く加味しておりませんので、投資したものが使用される今後の年数で割り返すとどのぐらいかというような、参考の金額でございますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

それから利用される方につきましては、今まで大ホールしかございませんでしたので、今度は小規模なホールというのも考えておりますので、そちらも利用していただきながら、そうすると今まで大ホールも、どのぐらい使ったとしても利用料は一緒でしたので、その辺のことも加味して参りたいと思っております。

また 30 年後については、大変恐縮ですが、今、申し上げられませんですけども、いずれにしても 20 年後 30 年後に市がしっかりと財源的に成り立っていくかということを含めた今回の計画でございますので、ご理解いただきたいと思ひます。

5 閉会